

In-Sight D900 活用テクニック

I/O 設定

作成年月日 : 2021年10月22日



本書は In-Sight D900における I/O 設定の方法を説明します。

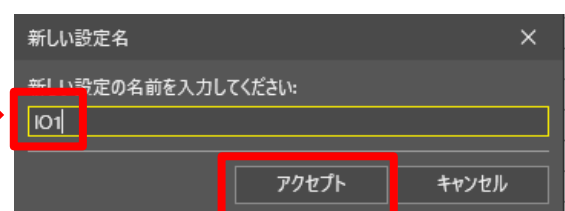
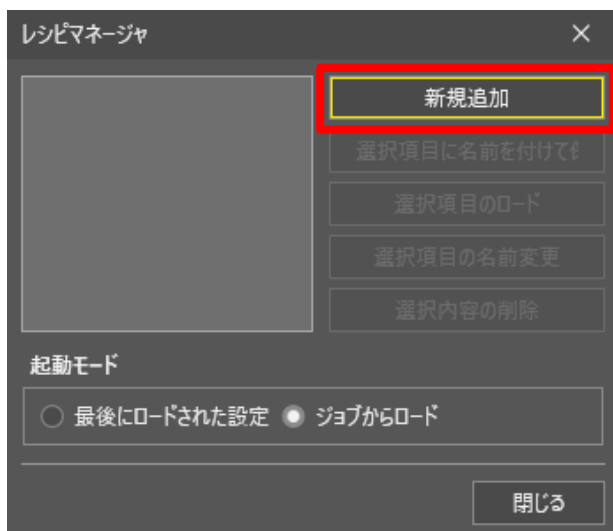
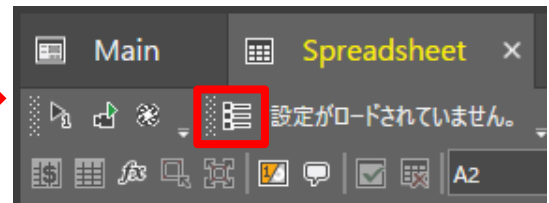
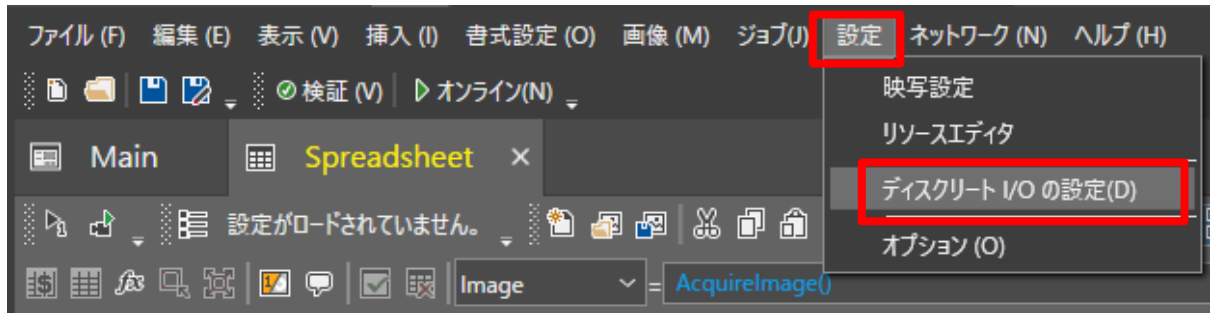
I/O 設定

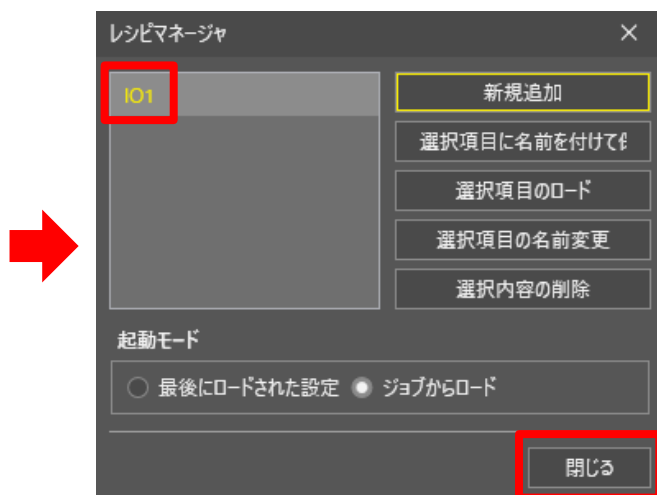
レシピの切り替えでは I/O 設定を変更することはできません。

以下に In-Sight D900 における I/O 設定の手順を記載します。

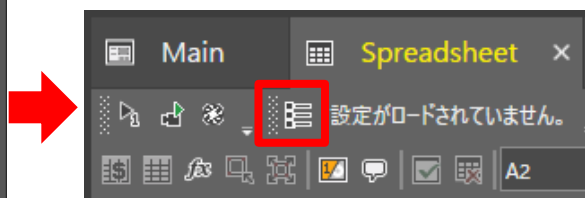
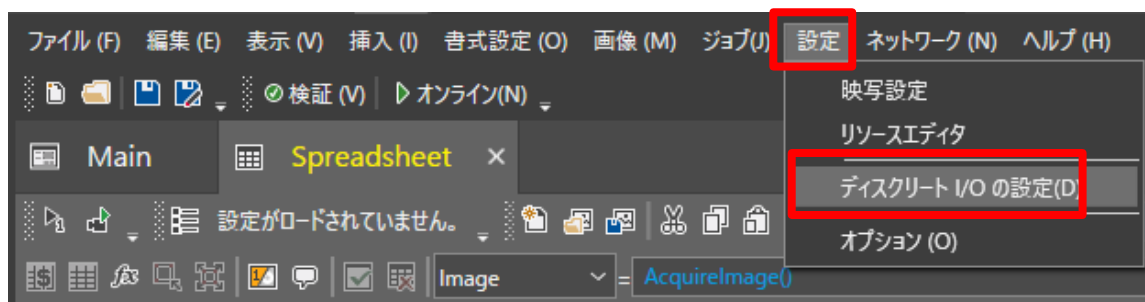
また、レシピの切り替えでは I/O 設定の変更ができないこともあわせて確認していきます。

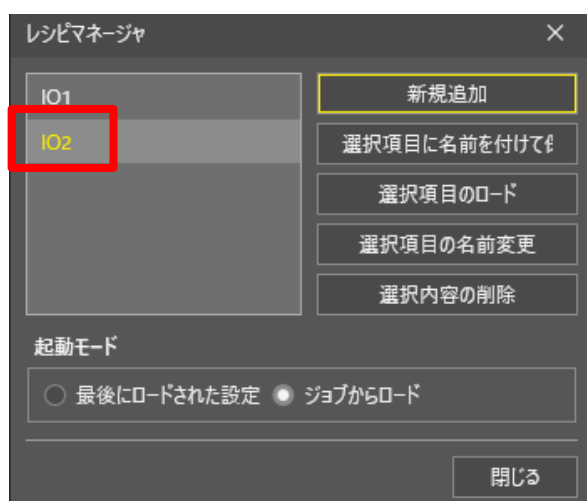
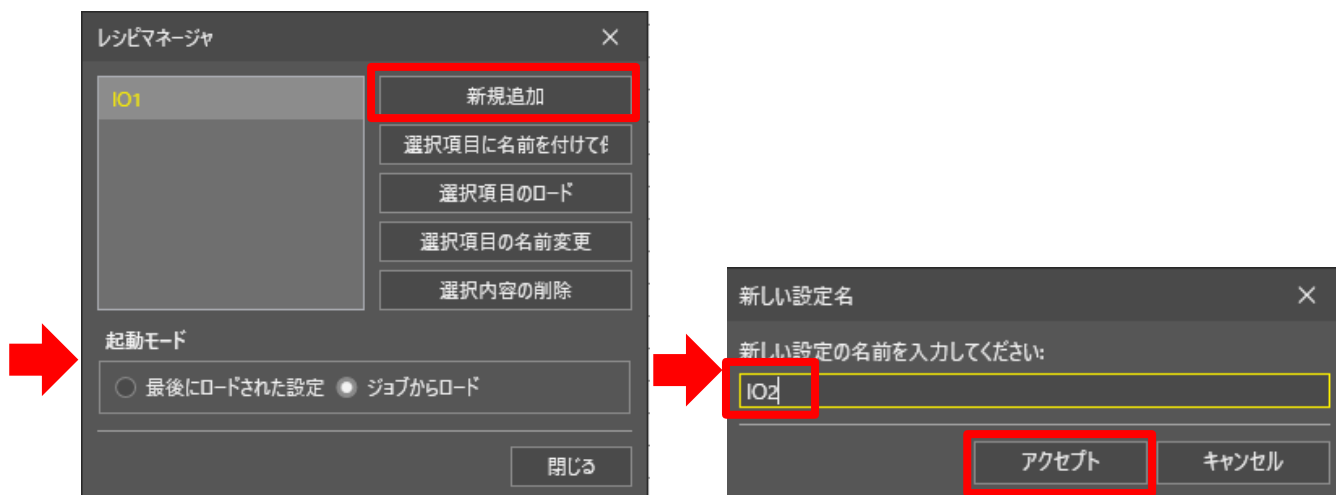
- ① ツールバー内[設定] > [ディスクリット I/O の設定]をクリック > 入力 1 の信号タイプを[オンライン]に設定 > [OK]ボタンをクリック > [レシピマネージャ]をクリック > [新規追加]ボタンをクリック > [レシピ名]に[IO1]を設定 > [アクセプト]ボタンをクリック > レシピが作成される



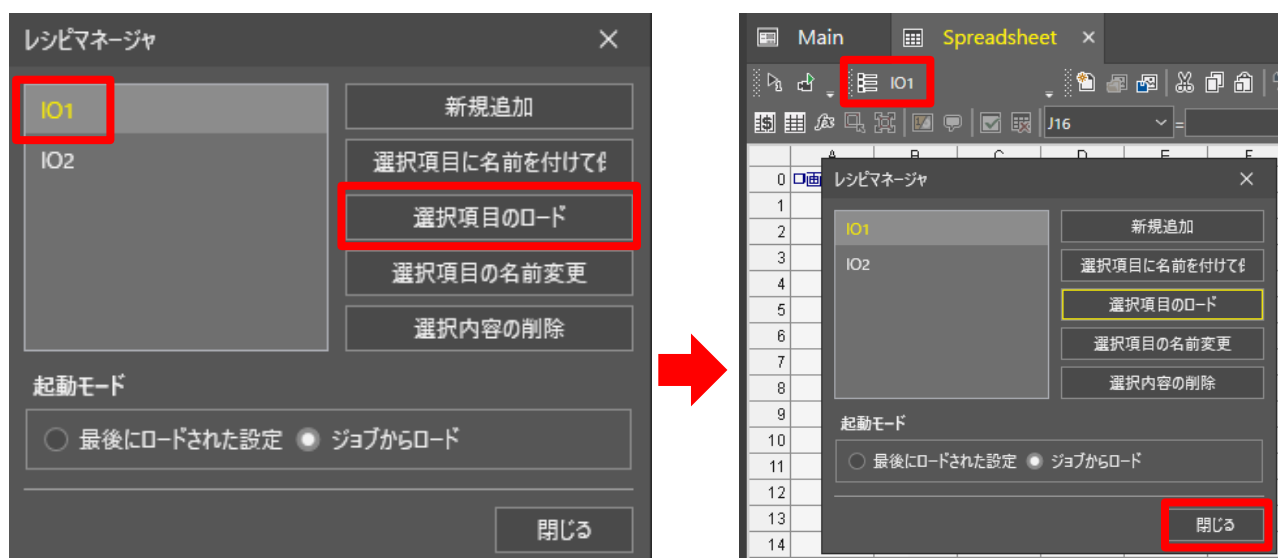


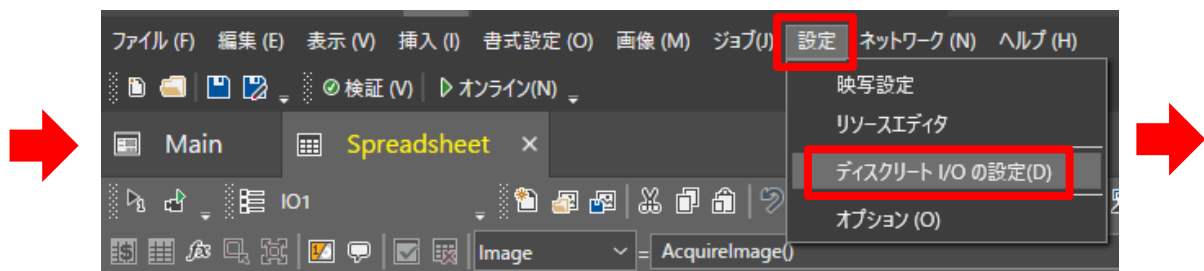
- ② ツールバー内[設定] > [ディスクリート I/O の設定]をクリック > 入力 1 の信号タイプを[イベント]に設定 > [OK]ボタンをクリック > [レシピマネージャ]をクリック > [新規追加]ボタンをクリック > [レシピ名]に[IO2]を設定 > [アクセプト]ボタンをクリック > レシピが作成される





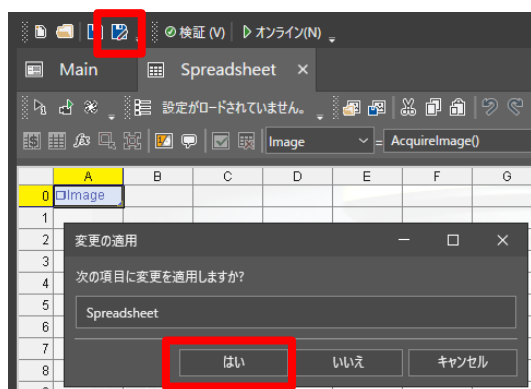
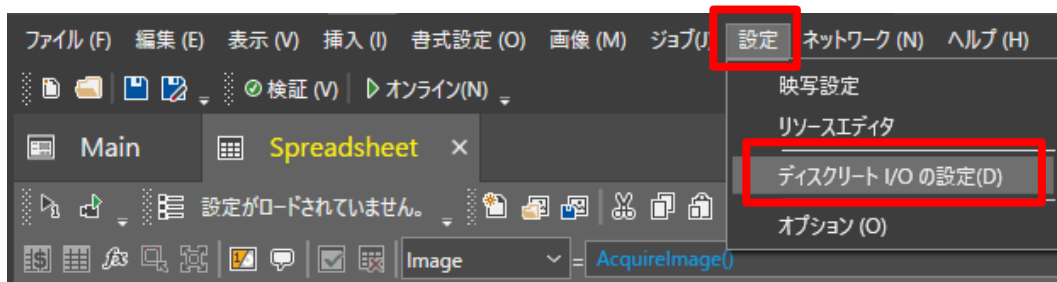
- ③ レシピ[IO1]を選択し、[選択項目のロード]ボタンをクリック > レシピ[IO1]がロードされる > [閉じる]ボタンをクリック > ツールバー内[設定] > [ディスクリット I/O の設定]をクリック > 入力 1 の信号タイプが[オンライン]ではなく、レシピ[IO2]作成時に設定した[イベント]として登録されている
このように**レシピ切り替えでは I/O 設定の変更はできない**ことが確認できます。



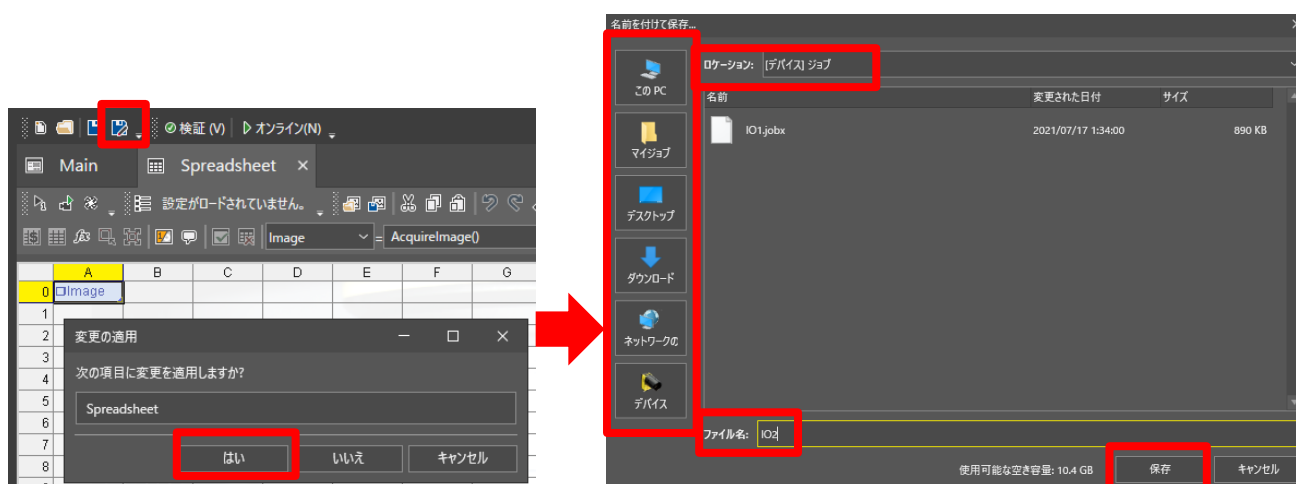
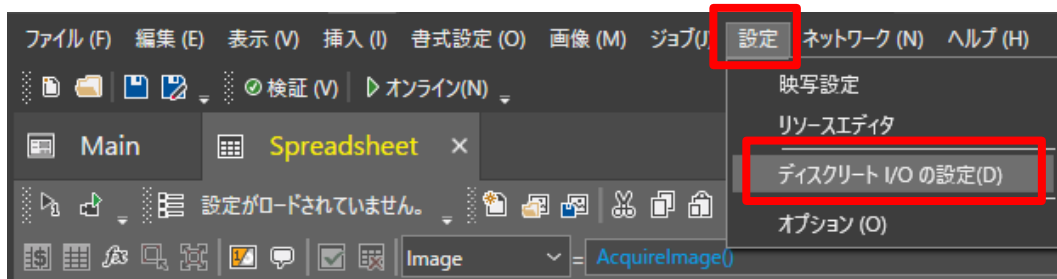


ジョブの切り替えであれば I/O 設定を変更することができます。

- ① ツールバー内[設定] > [ディスクリート I/O の設定]をクリック > 入力 1 の信号タイプを[オンライン]に設定 > [OK]ボタンをクリック > ツールバー内、[名前を付けて保存]ボタンをクリック > 確認メッセージが表示されたら[はい]ボタンをクリック > 任意の保存先を選択 > [ファイル名]をキー入力(この例では IO1) > [保存]ボタンをクリック



- ② ツールバー内[設定] > [ディスクリート I/O の設定]をクリック > 入力 1 の信号タイプを[イベント]に設定 > [OK]ボタンをクリック > ツールバー内、[名前を付けて保存]ボタンをクリック > 確認メッセージが表示されたら[はい]ボタンをクリック > 任意の保存先を選択 > [ファイル名]をキー入力(この例では IO2) > [保存]ボタンをクリック



- ③ ツールバー内[ジョブを開く]ボタンをクリック > 任意のジョブを選択し、[開く]ボタンをクリック > 確認メッセージが表示された場合は、[はい]ボタンをクリック > 選択したジョブが開く > IO1.jobx、IO2.jobx を開くと[ディスクリット I/O の設定]における各信号タイプがそれぞれ設定されていることが確認できます。

